



「に」げずに
「し」んじて
「かん」しゃして
「き」ょうりよくする

4月



2026年度 西神吉小だより

加古川市立西神吉小学校

学校通信

No.7

～ 選任式 & 朝会 ～



14日(火)に選任式と朝会を体育館で行いました。選任式では、5、6年生の計画委員をはじめとする各委員会の委員長と、2年生以上の1学期学級委員、それぞれの代表に選任状を手渡しました。名前を呼ばれると、どの子も気持ちのいい「はい!」の返事ができました。たくさんの人の前で、一人で返事をするのは恥ずかしいと思いますが、力強く、凛々しい返事ができたのは本当に立派です。

その後の朝会。私からのお話の最初に、「去年4月の朝会で誰について話したか覚えていますか」と質問してみました。すると、予想以上にたくさんの子が手を挙げてくれました。6年生で一番最初に手を挙げてくれた子に答えてもらうと、見事に正解!うれしいです。ちゃんと覚えていてくれて。

これからも校長先生のお話だけじゃなくて、担任の先生をはじめとする先生方、保護者の方々、地域の方々からのお話をしっかり聴いて、心にしまっておきましょうね。

朝会で話したこと

ピッカリ!
ピッカリ!



西神吉っ子のみなさん、おはようございます。

さて、私にとって西神吉小学校の校長として過ごす2年目の春を迎えました。去年の今頃、私は少し緊張して皆さんの前に立っていましたが、みなさんが毎日見せてくれる笑顔や、真剣に勉強する姿、休み時間に元気に遊ぶ姿を見て、やっぱりこの学校が大好きです。そして、みなさんと一緒に過ごした1年間のおかげで、私も校長先生として少しだけ成長できたかなと思っています。「に」は「にげない」、「し」は「しんじる」、「かん」は「かんしゃ」、「き」は「きょうりよく」。「たいせつなこと・にしかんき」を大切にしながらがんばっていきましょうね。

では、質問です。去年の4月の朝会で校長先生は何のお話をしたか覚えていますか。

「エジソン」のお話をしましたが覚えているでしょうか。「失敗は、うまくいかない方法を見つけたということだから、失敗ではないんだよ」というお話です。みなさんはこの1年、たくさんの「実験」をして、成長してきました。

そこで、今日、2年目のスタートにみなさんに提案したい「新しい実験」があります。

それは、「あいさつで、相手の心をパッと明るくする実験」です。

みなさんは、ヘレン・ケラーという人を知っていますか?彼女は目が見えず、耳も聞こえず、言葉を話すこともできませんでした。暗闇の中に一人ぼっちでいるような、とても寂しくて苦しい子ども時代を過ごしていました。そんな彼女を変えたのは、サリバン先生という先生との出会いでした。サリバン先生は、ヘレンの手のひらに文字を書いて、根気強く「言葉」を教え続けました。

ある日、ヘレンは「水(WATER)」という言葉を理解しました。その瞬間、彼女の世界はパッと明るくなったそうです。言葉を知ることで、人と心をつなげることができるようになったからです。

そんなヘレン・ケラーは、後にこんな言葉を残しています。

「一人でできることは少ないけれど、みんなで一緒にやれば、多くのことができる」

あいさつは、一番短い、けれど一番力のある「心をつなぐ言葉」です。みなさんが「おはよう!」と元気にあいさつをするとき、みなさんの手からは、目に見えない「心の光」が相手に届いています。元気がない友達に「おはよう」と言うのは、「あなたのことを見ているよ」という応援の実験です。先生や地域の方に「こんにちは」と言うのは、「いつもありがとう」という感謝の実験です。もし、あいさつをしても返ってこなかったら?それは「失敗」ではありません。エジソンと同じです。「この人は今、考え事をしていて聞こえなかったのかな?」とか、「次はもう少し大きな声で言ってみようかな?」と、新しい工夫を見つけるチャンスです。

校長先生の今年の目標は、みなさんと「日本一、元気なあいさつが響く学校」にすることです。みなさんの明るい「おはよう!」という声が、この学校を、そしてみなさんの未来を、もっともっと明るくしてくれると信じています。

まずは今日、隣にいる友だちや先生に、自分から「心の光」を届けてみませんか?みなさんの元気なあいさつを楽しみにしています。

これで校長先生のお話を終わります。

